

## 勘定科目リスト説明資料

### 1. 勘定科目リストの構成

勘定科目リストは、業種毎の勘定科目の一覧がシート構成されている。勘定科目リストを構成するシートとその説明は「表1．勘定科目リストのシート一覧」の通りである。

表1．勘定科目リストのシート一覧

No	シート名	説明
1	一般商工業	財務諸表等タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
2	建設業	建設業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
3	銀行・信託業	銀行・信託業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
4	銀行・信託業 (特定取引勘定設置銀行)	銀行・信託業(特定取引勘定設置銀行)タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
5	建設保証業	建設保証業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
6	第一種金融商品取引業	第一種金融商品取引業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
7	生命保険業	生命保険業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
8	損害保険業	損害保険業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
9	鉄道事業	鉄道事業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
10	海運事業	海運事業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
11	高速道路事業	高速道路事業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
12	電気通信事業	電気通信事業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
13	電気事業	電気事業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
14	ガス事業	ガス事業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
15	資産流動化業	資産流動化業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
16	投資運用業	投資運用業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
17	投資業	投資業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
18	特定金融業	特定金融業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
19	社会医療法人	社会医療法人タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
20	学校法人	学校法人タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
21	商品先物取引業	商品先物取引業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
22	リース事業	リース事業タクソノミに設定されている勘定科目の一覧
23	投資信託受益証券	投資信託受益証券タクソノミに設定されている勘定科目の一覧

## 2. 各シートの項目

勘定科目リストの各シートにある項目及びその説明は、以下の「表2．シート項目一覧」に示す通りである。

表2．シート項目一覧

No	項目名	説明
1	科目分類	EDINET タクソノミに設定されている勘定科目の科目分類が設定されている。 【A】: A 群勘定科目（法令・規則等に基づく勘定科目）である 【B】: B 群勘定科目（実務慣行に基づく勘定科目）である A 群勘定科目、B 群勘定科目の詳細については、「勘定科目の取扱いに関するガイドライン」を参照。
2	標準ラベル（日本語）	EDINET タクソノミに設定されている勘定科目の標準的な日本語表示名が設定されている。特段の設定を行わなければ、この科目表示名が EDINET において表示される。
3	冗長ラベル（日本語）	EDINET タクソノミに設定されている全ての勘定科目に冗長的なラベルが設定されている。冗長ラベルとは、EDINET タクソノミで一意に設定されており、各勘定科目がどの区分に属する科目であるかを識別するための参考情報ともなる。
4	用途別ラベル（日本語）	EDINET タクソノミの名称リンクにおいて、使用される用途に応じて切替可能な科目名称が設定されている。 この欄においては、以下のような用途に応じたラベルが「用途別ラベル」に設定されている。 「合計ラベル」・・・合計値を表す科目名 「期首ラベル」・・・期首時点を表す科目名 「期末ラベル」・・・期末時点を表す科目名 「負値ラベル」・・・負を表す科目名 「正值負値ラベル」・・・複数期で正負が混在する科目名 なお、包括利益の表示に関する会計基準適用後において使用される科目名称については、[包括個  （ラベルの種類）]として設定されている。

5	業種ラベル（日本語）	財務諸表等規則に定められた科目と同一の意味であるが、業法等にて異なる名称にて定められた科目名称が「業種ラベル（日本語）」列に設定されている。 （例） 財務諸表等規則における科目名・・・「現金及び預金」 業法等における科目名・・・・・・・・・・「現金預金」 など
6	連結財務諸表ラベル	連結財務諸表において使用される科目名称が設定されている。 なお、包括利益の表示に関する会計基準適用後において使用される科目名称については、[包括連  （ラベルの種類）]として設定されている。
7	四半期個別財務諸表ラベル	四半期財務諸表において使用される科目名称が設定されている。 なお、包括利益の表示に関する会計基準適用後において使用される科目名称については、[包括四個  （ラベルの種類）]として設定されている。
8	四半期連結財務諸表ラベル	四半期連結財務諸表において使用される科目名称が設定されている。 なお、包括利益の表示に関する会計基準適用後において使用される科目名称については、[包括四連  （ラベルの種類）]として設定されている。
9	中間個別財務諸表ラベル	中間財務諸表において使用される科目名称が設定されている。 なお、包括利益の表示に関する会計基準適用後において使用される科目名称については、[包括中個  （ラベルの種類）]として設定されている。
10	中間連結財務諸表ラベル	中間連結財務諸表において使用される科目名称が設定されている。 なお、包括利益の表示に関する会計基準適用後において使用される科目名称については、[包括中連  （ラベルの種類）]として設定されている。
11	標準ラベル（英語）	EDINET タクソノミに設定されている勘定科目の標準的な英語名称が設定されている。
12	用途別ラベル（英語）	用途別ラベル（日本語）に対応する英語名称が設定されている。
13	業種ラベル（英語）	業種特有の英語名称が必要な場合に、業種ラベル（日本語）に対応する英語名称が設定されている。 （例） 標準ラベル（英語）・・・「Ordinary income」 業種ラベル（英語）・・・「Ordinary profit」 など

### 3. 勘定科目リスト利用の際の留意事項

#### 3.1 財務諸表（様式）の種別について

勘定科目リストは、個別財務諸表、連結財務諸表、四半期財務諸表、四半期連結財務諸表、中間財務諸表、中間連結財務諸表のすべての様式に対応している。

なお、標準ラベル（日本語）は個別財務諸表をベースとしているため、他の様式特有の科目名称については、「連結財務諸表ラベル」、「四半期財務諸表ラベル」、「四半期連結財務諸表ラベル」、「中間財務諸表ラベル」、「中間連結財務諸表ラベル」を確認していただきたい。

#### 3.2 勘定科目リストの表示順序、階層構造について

勘定科目リストは、勘定科目の区分関係のみを示しているものであり、科目の順序は勘定科目リストにおける参考情報である。財務諸表としての表示順序、階層構造については、表示リンクで設定される情報であり、勘定科目リストでは科目の表示順序、階層構造を定義していない。

#### 3.3 業種別勘定科目リストに記載のある科目について

一般商工業以外の業種別勘定科目リストは、当該業種特有の科目を中心に作成されており、当該業種において利用することのできる科目がすべて掲記されているわけではない。一般商工業の勘定科目についても利用可能であるため、併せて一般商工業の勘定科目リストを参照することにより、利用可能な科目を網羅的に確認することができる。

#### 3.4 期首又は期末を表す勘定科目の取扱い

期首を表す勘定科目と期末を表す勘定科目は、基となる標準ラベルに対して、期首又は期末の用途に応じて切り替えることのできるラベルを設定することで表示を可能としている。

例えば、「現金及び現金同等物の期首残高」や「現金及び現金同等物の期末残高」は、「現金及び現金同等物の残高」という標準ラベルに対して、「期首ラベル」と「期末ラベル」を利用することで、期首又は期末を表す勘定科目を表示している。設定されている期首又は期末を表す勘定科目については、「用途別ラベル」列を確認していただきたい。

ただし、損益計算書における「商品期首たな卸高」、「商品期末たな卸高」等については、上記ラベルを利用せず、標準ラベルにおいて当該科目名を設定している。

詳細については、「企業別タクソノミ作成ガイドライン」を参照。

#### 3.5 集計を表す勘定科目の取扱い

集計を表す勘定科目についても期首・期末と同様に、基となる標準ラベルに対して、用途に応じて切り替えることのできる集計を表すラベルを設定することで表示を可能としている。

例えば、「資本剰余金合計」は、「資本剰余金」という標準ラベルに対して、「合計ラベル」を利用することで、集計を表す勘定科目を表示している。

設定されている集計を表す勘定科目については、「用途別ラベル」列を確認していただきたい。詳細については、「企業別タクソノミ作成ガイドライン」を参照。

### 3.6 金額の正負によって名称が変わる勘定科目の取扱い

金額の正負によって名称が変わる勘定科目についても、期首・期末、集計と同様に、基となる標準ラベルに対して、用途に応じて切り替えることのできる正負を表すラベルを設定することで表示を可能としている。

例えば、「当期純損失（ ）」は、「当期純利益」という標準ラベルに対して、「負値ラベル」を利用することで、負を表す勘定科目を表示している。

また、複数の期において正值と負値が混在する状況への対応として、「正值負値ラベル」を利用し「当期純利益又は当期純損失（ ）」という勘定科目を表示可能としている。

設定されている金額の正負によって名称が変わる勘定科目については、「用途別ラベル」列を確認していただきたい。

### 3.7 業種別財務諸表において一般商工業と名称が異なる勘定科目の取扱い

業法等に基づいて作成された業種別財務諸表においては、財務諸表等規則等に基づいて作成された一般商工業の財務諸表に対して、意味が同じであっても科目名称が異なる勘定科目が使用される場合がある。

(例) 財務諸表等規則(一般商工業)・・・「建物及び構築物」  
建設業法施行規則(建設業)・・・「建物・構築物」

勘定科目リスト中の「標準ラベル(日本語)」列においては、財務諸表等規則等をベースとする科目名称が表示されている。意味が同じであるが業法等により科目名称が異なる勘定科目については、「業種ラベル(日本語)」を確認していただきたい。